

(1) 工学部の沿革(明治30年4月～令和2年3月まで)

| | | |
|----|--------|---|
| 明治 | 30. 4 | 第五高等学校に工学部創設。(土木学科, 機械学科) |
| | 39. 3 | 熊本高等学校(3年制)新設。(採鉱冶金学科増設) |
| | 44. 6 | 附属工業夜学校(2年制)開設 |
| 大正 | 6. 12 | 電気工学科を増設 |
| 昭和 | 6. 1 | 附属工学校へ改称 |
| | 14. 4 | 工業化学科を増設 |
| | 15. 4 | 採鉱冶金学科が採鉱学科と冶金学科へ |
| | 17. 4 | 建築工学科を増設 |
| | 18. 4 | 附設臨時工業教員養成所を附設工業教員養成所へ改称 |
| | 19. 4 | 熊本工業専門学校へ改称, 電気通信科, 第二部機械科を増設 |
| | 20. 4 | 第二部冶金科を設置 |
| | 21. 4 | 第二部機械科, 第二部冶金科を廃止 |
| | 24. 5 | 熊本工業専門学校が熊本大学工学部へ |
| | 26. 3 | 熊本工業専門学校を廃止 |
| | 29. 4 | 工学専攻科(修業年限1年)を設置 |
| | 30. 7 | 土木建築工学科が土木工学科と建築学科へ |
| | 34. 4 | 採鉱冶金学科が鉱山工学科と金属工学科へ |
| | 36. 4 | 生産機械工学科を設置 |
| | 38. 3 | 工学部創立65周年記念事業会からの寄付により, 工業技術研究所(仮称)を設置 |
| | 38. 4 | 電子工学科を設置 |
| | 40. 4 | 合成化学科を設置, 鉱山工学科を資源開発工学科へ改称 |
| | 41. 4 | 工業技術研究所を工学研究機器センターへ改称 |
| | 42. 4 | 共通講座「工業数学第一」を設置 |
| | 46. 4 | 附属衝撃エネルギー実験所を設置 |
| | 47. 4 | 共通講座「工業数学第二」を設置 |
| | 49. 4 | 環境建設工学科を設置 |
| | 52. 11 | 工学部創立80周年記念事業会からの寄付により機械実習工場を改装し, 研究資料館を開設 |
| | 54. 4 | 情報工学科を設置 |
| | 61. 4 | 電気工学科・電子工学科・情報工学科を電気情報工学科へ, 工業化学科・合成化学科を応用化学科へ改組 |
| | 62. 2 | 資源開発工学科・金属工学科を材料開発工学科へ, 生産機械工学科・機械工学科を機械工学科へ改組 |
| | 63. 4 | 土木工学科・環境建設工学科(土木コース)を土木環境工学科へ, 建築学科・環境建設工学科(建築コース)を建築学科へ, 共通講座の4講座を工業数学・応用力学の2講座へ改組 |
| 平成 | 4. 4 | 電気情報工学科に寄附講座(電気エネルギー先端技術講座)を設置 |
| | 8. 4 | 土木環境工学科, 建築学科, 材料開発工学科, 電気情報工学科, 応用化学科および共通講座を整理統合し, 環境システム工学科, 知能生産システム工学科, 電気システム工学科, 数理情報システム工学科, 物質生命化学科の5学科へ改組 |
| | 9. 11 | 工学部創立100周年記念式典を挙行 |
| | 16. 2 | 工学部創立百周年記念事業後援会から寄附を受け, 工学部創立百周年記念館を竣工 |
| | 17. 4 | 文部科学省の特別教育研究費の採択を受け(平成17年度～21年度), ものづくり創造融合工学教育センターを設置 |

- 18.4 環境システム工学科、知能生産システム工学科、電気システム工学科、数理情報システム工学科、及び物質生命化学科の5学科から、新しく物質生命化学科、マテリアル工学科、機械システム工学科、社会環境工学科、建築学科、情報電気電子工学科、数理工学科の7学科へ改組
寄附講座(太陽電池・環境自然エネルギー寄附講座)設置(平成25年3月31日まで)
- 23.6 ものづくり創造融合工学教育センターを革新ものづくり教育センターへ改組
- 27.7 革新ものづくり教育センターをグローバルものづくり教育センターへ改組
- 30.4 物質生命化学科、マテリアル工学科、機械システム工学科、社会環境工学科、建築学科、情報電気電子工学科、数理工学科の7学科から、新しく土木建築学科、機械数理工学科、情報電気工学科及び材料・応用化学科の4学科へ改組